

1985・4

第 11 号

しろこぼと

日本野鳥の会埼玉県支部



役員紹介

埼玉県支部は、4月24日で満1周年をむかえます。この1年間の活動は、すべて会員の皆様のお力に負うものです。本当にありがとうございました。間もなく開かれる予定の総

会をひかえて、1年前、ともかくという形で出発した役員をここにあらためてご紹介いたします。十分な再検討を加え、新年度からは更に充実した役員体制にしたいものです。



支部長 今井昌彦（68才）
（熊谷市）旅館業
創業以来200年続く今井旅館の当主。県私学審議会委員、全国調理士会会長などもつとめる。鳥歴50年の大ベテラン。



監事 堀越照雄（52才）
（熊谷市）機械販売業
子供に野鳥や自然とふれ合う機会を与える事が最も重要と、遠い先に思いをこらす。シメが好きという。



副支部長 田村照治（63才）
（寄居町）元学校教師
多くの教え子にかこまれてすごす。好きな鳥はゲッキョットリと言って笑う。寄居地区の重鎮。



幹事 西城戸 司（43才）
（浦和市）埼玉大学教官
教育的視点を出発点として、子供たちをとりまく様々な環境問題に深い関心を持つ。身近な野鳥が大好き。



副支部長 鈴木忠雄（60才）
（熊谷市）医師
北海道から小笠原まで鳥を見て歩いたが、子供の時から思い出深いオオヨシキリが最も好きと語る院長先生。



幹事 長野博行（41才）
（北本市）桶川市役所勤務
環境行政の第一線で活躍しながら、桶川市川田谷全域をフィールドとして、野鳥生息調査を実施している。



副支部長 海老原美夫（42才）
（浦和市）調査事務所
本当はただのんびりと野鳥の写真をとっていたのにとぼやきながらも、事務局を担当して奮闘中。



幹事 石川敏男（37才）
（春日部市）交通公社勤務
仕事柄、世界中の鳥を見て歩く。ロンドン市街地の小鳥の人なつこさを語りながらも、やはり日本の鳥が好きと言う。



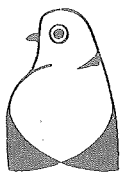
監事 石井生高（65才）
（寄居町）損害保険代理店
エベレストで撮影したヒゲワシが大きな思い出と語る。自宅庭のミニサンクチュアリでも有名。異色の行動の人。



幹事 今井明巨（自称31才）
（熊谷市）学校事務長
熊谷市大麻生を中心として、迷彩色の服装に身をつつみ、自然保護のために邁進している。今カワセミに夢中。

シンボルマーク決定

シンボルマークが、幸手町の秋間利夫さん原案によるシラコバトマークに決定しました。さっそくそのシンボルマークを配した会員証を作成し、皆様の手にお送りします。



この会員証は、探鳥会などのネームプレートも兼ねています。名札入れに入れて胸につけ、探鳥会などで鳥仲間をふやしてください。事務簡素化のため、1年ごとの更新はしません。もし破損した様な時は、事務局にご連絡ください。実費をいただいて再発行します。

新しいシンボルマークと会員証をよろしく。

本部会員制度の改正案

去る2月23日全国からの代表者が集合して行われた評議員会において、本部の会員制度につき、次の様な改正案が示されました。

A 会員（本部と支部の両方に加入の会員、本会の活動の中心的存在）本部入会金 500 円、本部年会費 4,000 円と支部会費。

B 会員（本部のみ加入して支部には加入しない会員。将来はなくす方向だが、支部会費が統一できるまで、また支部のない県もある事を考慮して、暫定的に残す）本部入会金 500 円、本部年会費 4,000 円。

C 会員（現在の支部だけの会員を本部の会員とするために考えられた今回の改正案の主眼。『野鳥』誌は届かないが、そのほかの立場は他の本部会員と同じ）本部入会金 500 円、本部年会費 500 円と支部会費。

家族会員（ABC 会員の家族。『野鳥』誌は届かないが、そのほかの立場は他の本部会員と同じ）本部会費 1,000 円。

その他

- (1) ジュニア会員制度は実施する方向で、現在ジュニア制度検討部会等において検討中である。
- (2) 将来は、全国の支部会費を統一し、本部会員と支部会員をすべて一本化して、

全部の会費を本部で一括して扱うことを可能とし、支部の会費取扱い事務量を大幅に軽減すると共に、全国的規模でのPRをやりやすくする。

以上が今回の改正案のおおまかな説明ですが、既に次の様な意見が聞かれました。

1. 支部だけの会員がなくなるという事は、500円と言えども、実質的な会費の値上げとなる。
2. 支部段階での家族会員制度がなくなるのは問題ではないか。
3. 各地の支部にはそれぞれの事情があるので、全国の支部会費を統一するのは無理ではないか。
4. 本部会員と支部会員の二重構造をなくし、全国的規模で会員制度を簡素化するという全体の方向性は賛成である。今後はいくつかの問題点を修正しながら、推進して行きたい。
5. その他

私たち埼玉県支部においても、より良い会員制度を目指して十分に検討して行きたいものです。皆様のご意見を事務局や役員にお聞かせください。

支部長へ感謝状

2月23日、評議員会と支部代表者会議の後で開かれた本部の50周年記念パーティーにおいて、全国の功労者43名に対して、感謝状が贈呈されました。埼玉県からは、今井昌彦支部長が、長年にわたる活動に対し、感謝状を受けました。

今井支部長のことば「この感謝状は、埼玉県支部の会員ひとりひとりにおくれたものを、立場上私がかわって受取ったものと考えています。今後も力を合わせて、かわいい野鳥やすばらしい自然の為にがんばろうではありませんか」



カット：中村雅和さん

フクロウへの思い

丸 純 和 行 (越谷市)

猛禽類、私はその中でもフクロウの仲間が大変興味を持っています。私とフクロウの仲間の出会いは今から12・3年前の夏でした。当時、家の近所にあった雑木林の小高い丘の上に1本の大きな松の木があり、まだ小学生だった私は、その下にあるクヌギの木によくカブトムシをつかまえて行ったものでした。ある日、松の木の自分の背丈より低い所にある穴の中に動く物を見て、恐る恐る手を入れ、それをつかまえてみると鳩より少し小さい奇妙な鳥でした。手にかみつかれて逃げられてしまいましたが、それがフクロウの仲間だと知ったのはその後でした。まだあの頃は家の近所や神社や森で夜よく鳴いていたので、特別珍しい鳥とは感じませんでした。それが3

年前の夏に市内のある神社の裏山で、何年ぶりでその鳴声を聞いた時は、なつかしさに感激しました。

今私は、週末になると、あっちこっちを駆けまわりフクロウを探しています。しかし、今日までに生息を確認したのは1ヶ所だけで、それもすぐ横をトラックがひっきりなしに通るある郊外の屋敷林です。巢になるような大木はなく、夕方になるとどこからともなく飛んできて、去年の11月頃その家の方が「うるさくてしょうがない」と私にとってうらやましいような苦情を言っておられました。しかし、それも今年の2月16日を境に姿を見えません。どこかで生きていてくれれば良いのですが。

鳥仲間・グループ紹介

戸田市立戸田中学校科学部

所在地・戸田市本町5丁目8番46号
戸田中学校内

顧問・萩谷 洋 部 員・男子5名

自然が少なくなった県南部にあって、「自然は創るもの」と考え、『自然に親しみ、地域の自然を調べ・守り・育てる』活動を意欲的に行っているのが、戸田中学校科学部で、高校の生物部のリーダーとして活躍する面倒見のよいOBにも恵まれ、小人数ながら精鋭ぞろいとのことでした。

ホームグラウンドは、近くの荒川河川敷で、ここでの観察は、今年4月で丸5年ということでした。その間、1980年11月のサバクヒタキの発見をはじめ、貴重なデータを蓄積しています。また、『鳥類繁殖調査』や『簡易植

生調査』など、毎年1つ大きなテーマを設け、戸田市全域について自然の状態を集中的に研究する活動も行っていて、調査結果を、『戸田市の自然診断』というテーマでまとめ、『科学教育振興展覧会』などに毎年発表し、高い評価を得ているということです。

また、自然保護の立場で外部の調査に対しても積極的に協力するという一方で、先日実施された『ガン・カモ全国一斉調査』に対しても協力していただきました。

顧問の萩谷先生の現在持っている夢は、①全小・中学校に自然保護クラブが出来て、各々の通学区域(本当の意味での“地域”)の自然を調べ、考える活動を行うようになること。②自然保護の視点で、発表しあひ学びあえる、『自然保護教育振興展覧会』とも言うような場が出来ること。③子供達の経験を広げるために、合宿などを行う機関が出来ること。ということで、当面は他校のクラブ等との交流を考えているそうです。



- トラツグミ ◇1月14日、寄居町鉢形城跡で1羽。(石井生高)
- ベニマシコ ◇1月15日、神流湖で1羽。(石井生高)
- マヒワ ◇1月15日、神流湖で3羽。(石井生高)
- アトリ ◇1月15日、神流湖で5羽。(石井生高)
- キジバト ◇1月30日11時半頃、熊谷市原島地区で白化した1羽が通常のキジバト1羽と一緒に。(今井昌彦)
- タゲリ ◇2月8日午後3時半。桶川市内ホンダエアポート近くの荒川河川敷で92羽以上。(長野博行)
- ウグイス ◇2月10日午前7時半、久喜市栗原の自宅近くでさえずり。(関口礼子)
- カイツブリ ◇2月12日午前9時、浦和市白幡沼でペアで巣作り。(海老原美夫)
- ホオアカ ◇2月23日午後1時半、桶川市川田谷の江川流域西分署北側で81羽。

- (長野博行)
- タマシギ ◇2月24日、桶川市坂田の遊水池で82羽♀1羽の越冬確認。(長野博行)
- コゲラ ◇2月27日、坂戸市下新田で1羽。(鈴木暁子)
- エナガ ◇2月27日、坂戸市下新田で2羽。(鈴木暁子)
- キレンジャク ◇3月7日、蓮田市東5丁目の民家のピラカンサの木に5羽。(中島高子)

県外編(近県のこの冬の話)

- ヤツガンラ ◇神奈川県横浜市内の公園に。
- オジロビタキ ◇東京都小金井市内の公園に♀1羽。
- オオコノハズク ◇東京都内のS公園に。
- ズグロカモメ ◇千葉県習志野市の谷津干潟に、数羽。
- コミミズク ◇3月8日午後5時40分、茨城県南の河川敷で15羽位飛ぶのを目撃。(関根和行)
- ◇3月9日午後5時半から6時にかけて、同じ所で延べ20羽位を目撃。(関根和行外5名)



初めまして。私は今、2・3年前までとはまったく別人のような人間になってしまいました。というのは、私は恥かしいことながら中学時代から今でいうツッパリで、16~19歳まで暴走族のサブリーダーをしていて、鑑別所や少年院にも何回もお世話になりました。

そんな私が野鳥の会に入り、週末には図書館通いをしたり、鳥を探してかけまわったりと、なにか信じられないような生活です。もともと鳥は好きでしたが、ある時気がついてみると近くで見つけることがむずかしくなっていました。私は今、大好きな鳥たちをもうこれ以上危険な目にあわせたくない、鳥たち

のことをもっと知りたい、と思っています。日本野鳥の会に入って今生活が充実しています。本当にありがとうございます。両親もよろこんでいます。私も来春結婚しますが、死ぬまで野鳥に接していたいものです。これからもヨロシク!!

編集部 独断で、匿名です

受験が終わったので、そろそろトリの方にも身を入れようと思っているところです。3月は三室の探鳥会に行こうかと思っています。小生の行くことになったのは飯能に新しくできた高校で、通学が大変ですが、えらく環境の良いところにあり、はっきり言って山の中です。このあいだは、その学校の近くにノスリが舞っていました。そういう場所です。

仲島 浩(浦和市)



野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
受付は探鳥会当日です。予約申込みは必要

ありません。

筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡（なくても大丈夫）などをご用意ください。小雨決行です。

参加費は、一般＝100円、会員と中学生以下＝50円。

4月7日(日) 寄居町 鉢形城跡と荒川

午前9時寄居駅南口集合(大宮7:25始発→熊谷8:09着→秩父鉄道乗換熊谷8:28発→寄居8:56着/東武東上線志木7:38発→川越7:50発→森林公園乗換→寄居8:45着)午後2時頃解散。春の渡り鳥とヤマセミを期待。(担当・田村照治、石井生高)
※秩父鉄道も時刻表変更。

4月21日(日) 浦和市 三室地区(浦和市立郷土博物館共催)参加費無料

午前8時15分北浦和駅東口(熊谷7:19発→大宮8:02→京浜東北線乗換)または午前9時市立郷土博物館前集合。午後1時頃解散。セッカヤコチドリ、もう夏鳥の季節。(担当・楠見邦博)

4月22日(月) 大井野鳥公園平日探鳥会

午前8時赤羽駅京浜東北線ホーム北端(川口寄り)集合。赤羽始発の電車で品川駅まで行き、品川駅東口からバス、午前9時半ごろ大井野鳥公園着。午後1時ごろ現地解散。干潟に遊ぶシギ・チドリの群れ。(担当・佐々木勉) ※29日は一斉調査の日なので、第3週にしました。

4月28日(日) 熊谷市 大麻生

午前8時50分秩父鉄道大麻生駅集合(大宮7:25始発→熊谷8:09着→秩父鉄道乗換熊谷8:28発→大麻生8:38着/秩父鉄道寄居8:33発→大麻生8:51着)12時ごろ解散。林の縁にはコムクドリ、川原ではイカルチドリがピッピッピ。(担当・鈴木忠雄、堀越照雄、今井明巨)

5月3日(休) 寄居町 鐘撞堂山

午前9時寄居駅北口集合(大宮7:25始発→熊谷8:09着→秩父鉄道乗換8:28発→

寄居8:56着/東武東上線志木7:38発→川越7:50発→森林公園乗換→寄居8:45着/八高線東飯能7:37発→寄居8:38着)午後2時頃解散。全長約9kmのハイキングコースを歩きながら、いずれも美声のイカル、オオルリ、コルリをさがす。(担当・田村照治、石井生高)

5月12日(日) 所沢市 北部地区

午前9時30分西武新宿線新所沢駅西口集合(武蔵野線南浦和8:36発→新秋津8:59着→徒歩約10分西武池袋線秋津駅乗換9:18発→所沢9:21着→西武新宿線乗換9:25発→新所沢9:28着/川越線大宮8:15発→川越8:43着→徒歩約15分またはバスで西武新宿線本川越駅乗換9:11発→新所沢9:29着)パネル展の最終日に、雑木林でのんびり探鳥会。ホオジロ、コゲラ、シジュウカラなど。(担当・海老原美夫)

5月19日(日) 浦和市 三室地区(浦和市立郷土博物館共催)参加費無料 集合場所など4月21日と同じ。胸を張ってホオジロが鳴く。サシバは飛ぶかな。(担当・楠見邦博)

5月6日～12日 初のパネル展開催

場所:新所沢駅西口、新所沢パルコレックス館3階ブックセンターコミュニティサロン。

野鳥写真パネルなどを展示して、バードウォッチングと野鳥の会をPR。クイズ参加者にはヒマワリの種パックプレゼント。花を咲かせて、実がなったら、鳥たちに分けてやって、ミニサンクチュアリ。

(ボランティア大募集中。8ページ連絡帳をご覧ください)

探鳥会報告

2月17日(日) 浦和市 三室地区

人 50人 天気 晴 鳥 コサギ コガモ オナガガモ コジュケイ キジ タカブシギ イソシギ タシギ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(30種) 首に白い輪のあるキジが出現。コウライキジかと思われたが、初参加の植木茂さんが小型カメラでパチリとやった1枚を後日引伸ばして見たところ、胸部など緑色。白い首輪のあるニホンキジらしいことがわかった。

2月25日(月) 大井野鳥公園

人 16人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ トビ チュウヒ チョウゲンボウ コジュケイ バン オオバン シロチドリ セグロカモメ ウミネコ キジバト ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(37種) 愛敬ものの番外ハッカチョウが水浴

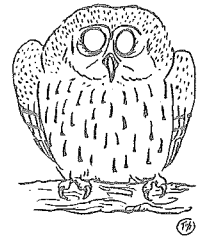
び。若鳥タイプのチュウヒがゆっくりと旋回。アシ原の火事による鳥相変化で、ツグミとヒバリが増え、残ったアシ原にオオジュリン。

3月3日(日) 寄居町 長瀬

人 17人 天気 曇 鳥 カルガモ コジュケイ キジバト コゲラ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(20種) 岩畳を歩いて、地質学の話もちよっと聞いて、50羽位のアトリの群れも出現。

3月10日(日) 本庄市 阪東大橋

人 埼玉県支部30人 計81人 天気 晴 鳥 カイツブリ ダイサギ コサギ アオサギ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ トビ イカルチドリ シロチドリ タゲリ ハマシギ イソシギ タシギ キジバト カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ ホオジロ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス(36種) 1ヶ月前に比べてずっと数の減ったカモ、さかんに舞い上がるヒバリに季節を実感。鳥合わせ中にコハクチョウ1羽出現。群馬県支部の皆さんありがとうございました。



カット：仲島浩さん

「国際ワシ・タカ保護シンポジウム」へのご招待

5月29日より開かれる東アジア鳥類保護会議の最終日(31日)の「国際ワシ・タカ保護シンポジウム」は、公開となります。ご参加ください。フィリピンワシの保護の現状や台湾のサンパの話、国際鳥類保護会議本部(イギリス)の猛禽類の専門家の話などが聞けます。英語で行なわれますが、もちろん通訳が

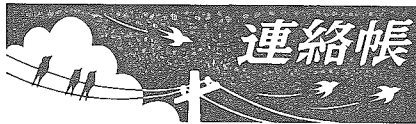
つきます。

日時：5月31日(金) 10:00～16:30

場所：中野サンプラザ 13階(国鉄中野駅より徒歩3分)

参加費：本部会員は無料、他は1,000円

申し込み方法：4月10日までに、官製はがきで本部の総務部猪沢へ。



パネル展ボランティア集合願います

5月6日～12日、新所沢パルコで開催するパネル展に、ボランティアとしてお手伝いください。必要な仕事は次の通りです。

搬入とかざりつけ作業：5月5日(日) 午後3時～8時まで。力がたよりの人、センスのある方、どっちもないけどガンバル人、たくさん必要です。

開催中の案内役：5月6日(休)～12日(日)の午前10時～午後8時(12日は3時まで) 会場でクイズの案内、入会受付、簡単な説明などを行います。できる時間だけで結構です。特に6日と12日は重要です。

探鳥会リーダー又は補助者：12日の探鳥会も、パネル展会場と人員が二分されるので、できるだけ多くの方にお手伝いいただきたいのです。

搬出と後片付け作業：12日午後3時～8時、力仕事、汚れ仕事ですが、そっちの方が得意という方、いらっしゃいませんか。

特に所沢や川越などお近くの方にお願ひできればありがたいのです。もちろん遠くの方でも大歓迎。事務局までご連絡ください。

夏鳥調査、来月号にはがき同封

先月号でお知らせした夏鳥の分布調査、報告用のはがきを印刷して、来月号に同封する予定です。よろしくお願ひします。

観察地の表示について、わかる様に普通に書いていただければ、こちらで地図上の位置

を定め、コード化しますが、できれば、冬鳥調査や緑の国勢調査と同じメッシュコードで表示していただきたいのです。メッシュコードについてお知りになりたい方、簡単な解説書を用意する予定です。ご連絡ください。

本部のバードショップ休まず営業

ゴールデンウィーク中の本部バードショップは、休まず営業します。

期間：4月27日(土)～5月6日(月)

時間：午前10時～午後5時

期間中にこの『しらこぼと』4月号を持って行きますと(他支部からの方も含めて)先着300名までポスタープレゼント。

会 員 数

3月20日現在で487名です。

今月号の表紙絵：鷹尾正済さん



この「しらこぼと」がお手もとに届くころ、もうウグイスのさえずりは聞かれたでしょうね。ツバメにはもう会えましたか。カモたちはどンドン帰ってます。春の渡り鳥が通過中です。アオバズクなど夏鳥が渡って来ます。動きの多い季節です。

野外で鳥を見て歩くのも楽しいけど、室内で原稿を書き、編集作業をするのも楽しいものですよ。ホントに。ご一緒にいかが。

(海老原美夫)

題字「しらこぼと」：日本野鳥の会会長・山下静一

『しらこぼと』	1985年4月号(第11号)	頒価100円(会費に含まれます)
	発行人 今井昌彦	発行所 日本野鳥の会埼玉県支部
発行所事務局 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号ブリムローズ岸町107号		
電話0488(32)4062		
郵便振替 東京9-121130	銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金	316990
印刷所 埼新印刷株式会社		

(無断転載を禁じます)